

12月25日（木） 終業式の話

今日で、1学期が終わりです。長かった2学期、みんなでがんばった2学期でした。

はじめに、終業式にいつもお話ししている、「音読」について、今回も人数を発表します。

1つめの「台東区民憲章」を合格したのが
171人

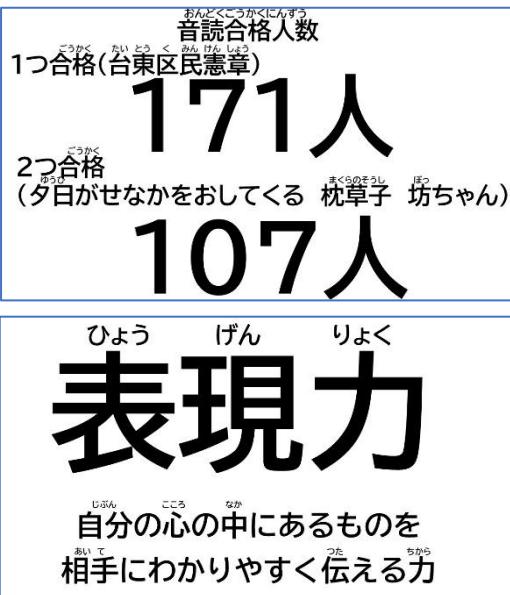
2つめの「夕日が背中を押してくる」「枕草子」「坊ちゃん」を合格したのが107人でした。

「音読」でがんばったから、12月6日の120周年記念式典の「よろこびのことば」で、全校で合わせて大きな声で「台東区民憲章」が言えたのですね。みんなで練習をする前に、すばやく覚えていた皆さん、皆さんのがんばりは、とても素晴らしいです。

さて、2学期を振り返って、私は、千束小学校の「表現力」の高まりを感じました。「表現力」というのは、「自分の心の中にあるものを、相手にわかりやすく伝える力」のことです。これは、階段に掲示してある学芸会の写真を借りてきたものです。この写真は5年生ですが、どの学年も、みんなが伝えたいこと、言葉だけでなく、そこにある思いも含めて伝わってきました。

この写真も、階段の掲示板から借りてきたものです。「120周年記念式典」ですね。一人一人の言葉、晋平先生の歌、台東区民憲章、どれを取っても、みんなの、千束小学校をお祝いして、千束小学校を大事にしようという思いが伝わってきました。みなさんの「表現力」の素晴らしいしさが詰まっています。

また、このような大きな行事だけでなく、授業の中でも、表現力が光っていました。この写真は、6年生が地域の革製品を作りお仕事をされている方にお話を聞いたときのものです。自分が考えていること、知りたいこと、聞いてみたいことなど、たくさん質問をして、新しいことをたくさん学ぶことができました。来て下さった先生も、「いい質問をたくさんしてくれて、とてもうれしかった。」と話してくれまし



た。6年生以外にも、地域の人が来て下さったり、地域に出かけて行ったりしながら、自分の思いを伝え、そこからたくさん学ぶことができました。これも「表現力」があるからできることです。今日、担任の先生から渡される「通知表」の中にも、総合の時間や道徳の時間で、「表現力」を活かして学んでいる姿が書かれていました。とてもいい学習ができた2学期だったことが良く分かりました。

「自分の心の中にあるものを、相手にわかりやすく伝える力」、「表現力」が身に付いた千束小学校のみなさんです。明日からの冬休みには、家族や親せきの人と過ごすことが多いと思いますが、自分の思っていること、考えていることを、たくさんお話ししてください。そして3学期も、たくさん話し、話し合いながら、学んでいけるといいですね。